

～ 「第5次障害者計画」に向けて ～

理事長 奥山葉月

立川市は平成27年度から「第5次障害者計画」、「第4期障害福祉計画」がスタートとなります。

「障害者計画」とは障害者基本法を基本とし、立川市での障害者施策がどのような目標をもって進めていくのかという、事業やサービスのもととなる理念や目標をまとめたものです。また、「障害福祉計画」とは障害者総合支援法がもととなり、福祉の事業全般（居宅介護、重度訪問、同行援護、など介助制度だけでなく、通所、入所、相談支援なども立川市で行っているすべて事業）の数値目標となります。

「第5次障害者計画」は、筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻・教授 小澤温先生が委員長を務める立川市障害者施策推進委員会が策定に向け、審議を行ってきました。この立川市障害者施策推進委員会(以下を施策推進委員会と記載)は関係機関、関係団体、当団体、市民公募から15名の委員で構成され、自立生活センター・立川から奥山が委員として関わらせていただきました。

施策推進委員会ではメインタイトルを前計画のものを引き継ぎ「障害のある人もない人も、共に生きる社会」とし、「差別の解消および権利擁護の推進」「相談体制・情報提供」「地域生活支援」「保健と医療」「生活環境」「雇用・就労」「教育・育成・文化芸術活動・スポーツ・生涯学習等」「啓発・交流・ボランティア」を3つの分科会に分け、それぞれに与えられた項目について審議してきました。

4月のパブリックコメントを経て、6月に一般配布される予定となっています。ぜひ、パブリックコメントではみなさんのご意見をお寄せください。そして、それにとどまらず、その後も「第5次障害者計画」が、障害者の生活の為に実現されるよう確認していきましょう。

福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》事業報告

平成26年度 立川市障害者週間イベント 報告

立川市では障害者基本法に規定する「障害者週間」の催しとして、障害についての理解の促進・心のバリアフリー推進のため、12月3日（水）～12月9日（火）にイベントを開催しました。昨年度に引き続き、福祉ホットラインでは実行委員会の事務局 長を務めました。

今年度は「来て見て感じて つながろう」をテーマとし、より多くの市民のみなさんにイベントに会場していただけるような企画として、最先端の技術を活用した未来型福祉機器の展示や、立川拘置所主催のイベント「たちかわあすなろフェスタ」への出展を行いました。また、記念品の準備や作品販売などを通じて市内の障害福祉サービス事業所の方にもイベントに参画していただく機会を増やしました。主な企画内容についてご報告します。

■第5回 たちかわあすなろフェスタへの出展 10月18日（土）

立川拘置所にて（主催：立川市役所）

- ・障害者週間イベントのPR
- ・障害福祉サービス事業所による手作り作品の販売 など

■展示・体験・相談会 12月3日（水）～12月9日（火）

立川市役所 多目的プラザにて

- ・立川市内の小学4年生から募集した絵画の展示

テーマ：障害のある人とない人がともに安心して暮らせる私たちのまち

- ・市内福祉団体のパネル・作品展示、活動DVDの上映
- ・未来型福祉機器やユニバーサルデザインゲームの展示
- ・ヘルパー就職相談会 など

自立支援協議会の企画で、市内の6事業所にご協力頂きました。相談会のために来庁された方もいらっしました。

■アニメ映画会「明日の希望」

バリアフリーストークラライブ「笑いでバリアを吹き飛ばせ！！」 12月7日（日）

女性総合センター・アイム ホールにて（共催：立川市人権学習事業実行委員会 他）

- ・事故で右目と両腕を失いつつも、多くの障害者に仕事と希望を与えた実在の人物を取り上げた映画。
- ・Eテレ放送中の障害者バラエティー番組「バリバラ」MCの山本シュウ氏、玉木幸則氏によるセミナー。後半は市内在住の障害者、外国人、ニート・引きこもりの支援者も交えての「マイノリティあるある」をテーマとしたトークを展開。それぞれの立場から今の社会への思いを聞きあい、終始笑いが絶えず、舞台・会場が一体となり、「人権」を楽しく、熱く、学ぶ場となりました。

■障害年金相談 12月7日（日）立川市役所 会議室にて

- ・障害年金を専門にサポートする多摩地域の社会保険労務士による無料相談会

イベント全体を通して1,017名の方にご来場頂きました。市民の方に少しずつ根付いてきたこのイベント、来年度もより広がりを持てるよう取り組んでいきたいと思います。（廣瀬 麻美）



未来型福祉機器の展示



バリアフリーストークラライブ

ちいきせいかつしえん 地域生活支援センター・パティオ

< 精神保健福祉への理解に関する取り組み（普及啓発事業） >

パティオは相談支援、プログラムのほか精神保健福祉への理解に関する取り組み（＝普及啓発）を行っています。利用者の方々の支援に還元できる内容を心がけ、当事者間でのエンパワメントを目的とする活動の支援、自立と社会参加の促進のため、障害に関する理解を図る活動を行っています。

主なものとしては、2003年から続く当事者による退院支援グループ“ピアサポートグループ・りらく”の活動支援（月1回行なわれる定例会と多摩あおば病院訪問の補佐、他のサポートグループとの交流会・大学での講演会などのコーディネート窓口など）、利用者の方々のご家族を対象にした家族交流会の開催、立川市の主催する会議や市内の精神保健福祉サービス事業所の連絡会議などの地域ネットワーク会議への参加、看護学生や精神保健福祉士の実習の受け入れや、地域の専門家にプログラムの協力依頼（今年度は、ヨガ講師、フラダンス講師、パステル画講師、歯科衛生士、保健師、薬剤師に依頼）を行ない、地域とつながった、開かれた支援になるように心がけています。

そのほか、立川市の精神保健福祉サービスガイドのホームページの担当、立川市障害者週間の実行委員などの活動をしています。

ひとつひとつの活動を通して、地域に根差し、開かれた支援になるように心がけています。今号では2月にも行なわれた家族交流会についてご紹介したいと思います。

● 家族交流会

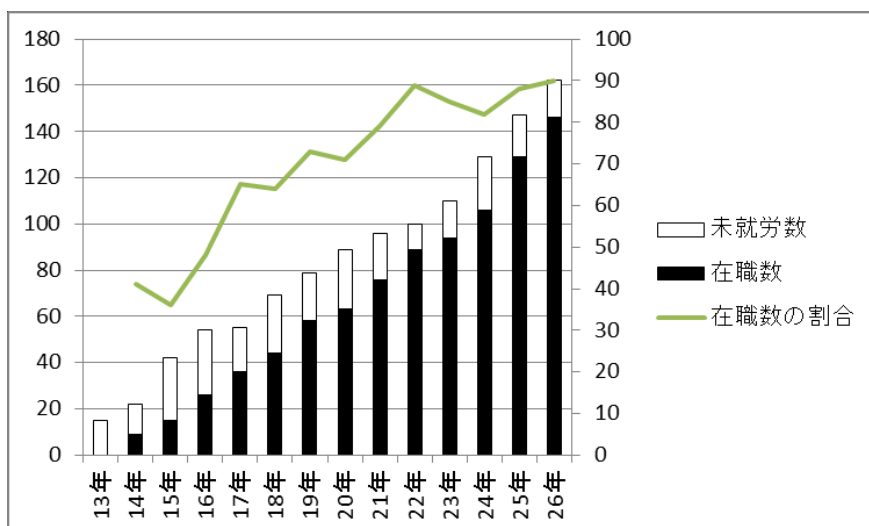
ご家族の方々と日ごろの思いを分かち合い、相談できる場をもちたいという思いから、2011年から家族交流会を行なっています。年に1回の開催でしたが、より多く開催してもらいたいというご家族の方のお声もあり、昨年度から年に2回開催しています。パティオの顧問医である三船クリニック院長 三船英男先生にご



協力いただき、毎回ご家族の方々の疑問や不安にアドバイスを頂いています。これまで、精神疾患の理解や家族としての接し方、自立・将来について、社会資源とサービス利用計画についての勉強会などのテーマで行ない、多くの方々にご参加いただいています。交流会の中で、病状の今後の見通しに関すること、薬を飲み続けていてもよいのかという不安や本人が症状を訴えてきた時の接し方、自立や将来についての思いなど、「家族」という一番近い立場にいるからこそその不安と期待が多く語られています。去年の8月にはご家族どうしの感じていることを共有する意見交換会という形で、14名のご家族

に参加していただきました。家族の皆さんが全てを抱え込み、孤立するのではなく、安心して自分の思いを話すことが出来、よりよい家族としての関わり方を皆さんで考えられる繋がり場として、家族交流会をこれからも続けていきたいと思っています。パティオは、これからもつながること、つなげることを大事にし、親身になった相談を心がけながら、“その人にあった生きかた”をご本人、ご家族と共に考え、支援させていただきたいと思っています。

（遠藤雅子）



他の生活支援機関との連携や協力です。

しかし、時間の経過と共にご家族の支援力の低下や喪失が生じてきます。いわゆる、家族の高齢化、親亡き後の問題です。当センターが就労支援を始めてからまだ14年ほどですが、すでに大きな問題となってきました。現状では、家族と当センターの支えで十分であっても、例えば10年後に状況が一変していてもおか

しくはありません。家族の支援力の変化に合わせて、必要な生活支援のサービス利用を早い時期から検討しておくことが望まれます。現在、在職中の方の8割が家族同居ですが、そのうち、当センター以外の福祉サービスを利用している方は、わずか2割です。

ちなみに10年後には、登録者数270名、在職中の方は240名に及ぶと推計されます。定着支援、或いは生活支援のボリュームも相当なものと思われます。現在東京都では、全区市に就労支援センター、さらに就業・生活支援センターが6カ所設置されています。雇用率達成に向けて今後も障害者雇用の促進は続き、ご本人及び雇用する企業への支援ニーズが減ることはありません。どの就労支援センターも、増え続ける登録者や定着支援について、危機感を抱いています。就労支援センターも含め、長期の定着支援や生活支援に対応できる包括的な地域の支援基盤の在り方に関する、将来を見据えた検討がなされる必要性を強く感じます。(井上 貴央)

◆ お楽しみ会報告

この会は知的障害の方を対象とした交流プログラムです。10月に、お店を貸切り「お好み焼き大会」を行いました。例年スポーツ大会を行っていましたが、スポーツが苦手という方にも、気軽に参加してもらおうと企画内容を変えました。そのためいつもより大人数の45名となりました。

みんなで集まって焼いて食べるだけでも楽しいものですが、少し趣向をこらしました。二人一組になって焼き、そこにソースやマヨネーズで絵を描いてもらいました。それをプロジェクターで写し、みんなで品評し表彰しました。アンパンマンなどのキャラクター、動物、花など本当に様々でした。なかには説明がないとわからないものもあり、品評会はとても盛り上がりしました。

食事をしながら、一人ずつ自己紹介や近況報告をしてもらいました。会社名や仕事内容、頑張る気持ちを人前で話すことで、働く自信や喜び、みんなで励まし合っているような一体感が生まれました。明日からの仕事の活力を大いに充電できたのではないかと思います。(白部貴子)

在職者の生活形態	人数	内、他の福祉サービスも利用
家族同居	119(80)	24
グループホーム等	16(10)	16
単身	15(10)	6
合計	150	48
		* ()は、%



さあ、焼くぞ！



こんな絵を描きました！

知的事業 事業報告

知的障害当事者の内山さん・泉口さんにご協力頂き、プログラムの実施や取材を行っています。

■日本障害者リハビリテーション協会 研修への協力【10月24日（金）】

昨年に引き続き、公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会から依頼を受け「障害者リーダーシップ育成とネットワーキング」のカリキュラムの一環として、立川市在住の知的障害のある方の生活や余暇、また当団体の知的事業の活動をご紹介します。この研修は、権利意識を持つ障害当事者リーダーの育成を目指すために JICA（独立行政法人 国際協力機構）の委託で開催されており、今回はラオス、モルディブ、ルワンダ、タイから上肢や下肢に障害のある方・視覚障害のある方・聴覚障害のある方など7名が訪れました。



午前中は、内山さんと泉口さんの生活や仕事、利用している福祉サービスの紹介や知的事業の活動について、パワーポイントや写真・動画を活用して紹介しました。余暇活動についての質問を頂いたり、自国の福祉サービスの状況をお話くださった方もいました。昼食からは、立川で生活している他の障害のある仲間も合流し、国境を越えたランチタイムとなりました。午後からは「立川流おもてなし」として、誰もが楽しめる触覚を使ったゲーム『箱の中身はなんだろう？』を行いました。中身にはカエルのゴム人形や野球のボールを選んだのですが、皆さんみごとに正解されていました。国や文化や障害種別を越えて、知的障害のある仲間の生活について考え、意見を交わすことができた時間となりました。

泉口さんの感想：いろいろな職種（教員や他の障害のある人の支援をしている）の方が来てくれて、お話を伺えたのが、とてもよかった。

■作業所取材…立川市内の事業所ではどんな活動・仕事をされているのかを取材しています。

・栄福祉作業所【9月26日（金）】

知的障害がある方を中心に就労継続支援B型事業を行っています。作業内容は、花苗の育成、袋詰め作業、都市軸清掃、岩塩検品などです。

内山さんの感想：大きな建物でみんなゆったりと楽しそうにお仕事をしていました。

職員さんも元気があっていいなあと思いました。

・こぶし福祉作業所【11月28日（金）】

障害のある方に、通所による授産・生活両面の支援を行い、自立を目指しています。就労継続B型・就労移行事業を行っているチャレンジこぶし（袋づくり、スリッパの成形、都市軸清掃など）、就労継続B型・生活介護事業を行っている福祉工房こぶし（袋づくり、花苗の育成、資源回収など）があります。

内山さんの感想：お仕事をとても楽しそうにされていました。

メンバーさんにも職員さんにもたくさんお話が聞けて良かったです。

■うっちい散歩…自分の住んでいる街のイベントなどに出かけて、見学やインタビューをしています。

・立川市障害者週間【12月5日（金）】

子どもたちの描いた絵や作業所さんの活動紹介パネル・作品、福祉機器などが展示されていました。

*上記取材については記事を作成し、知的障害のある方や家族会に向け情報提供を行っています。

（廣瀬 麻美）

■ 2014年度 クリスマス会を「新柴崎学習館」で開催！（12月18日）

慣れ親しんだ旧柴崎学習館の講堂が移転となり、2014年のクリスマス会は、みんな一緒に行えるか危ぶむ声もありましたが、装いも新たに進化した、new柴崎学習館のホールをお借りし、無事開催することが出来ました。慣れない場所なので、お越し頂いた皆さまも戸惑われることが多かったと思いますが、今回は楽しいゲストの方にもご協力頂き、また子ども達も参加され、とても楽しい時間となりました。



サンタ姿がお似合いの野口理事の挨拶からみんなで乾杯し、歓談へ。

そして、奥村美砂さんの優しいピアノの音色を聞きながら、市内の就労継続B型事業所「たんぽぽ」の方に作って頂いた

オードブルやケーキに舌鼓を打ちました。

そして、お楽しみのエンタメコーナー。最初は「妖怪ウォッチ」の歌を子ども達が、次にパティオのメンバーがチームでフラダンスを、最後は



舞台から溢れんばかりの就労のメンバーがポップな歌を歌いました。そして、今回のスペシャルゲスト、大道芸の「ペッパーさん」のパフォーマンスに会場が大盛り上がりとなりました。

本当に楽しい時間はあっという間です。その後、協力員のメンバーからビンゴで当選した5名の参加者の方にプレゼントをお渡しし、「アナ雪」のエルサに扮装した奥山理事長の挨拶でお開きとなりました。

今回も86名とたくさんの方に来て頂きました。2015年も楽しめる時間を作りますので、是非またみんなで元気にお会いするため、職員一同頑張っていきたいと思います。



（鈴木徳子）

■ 2014年度 いっしょに遊ぼう「子ども向けIL」（11月30日）

毎年恒例になってきた学齢期の障害のある子ども達を対象にしたプログラムを行いました。

今年は子ども達に何をして遊びたいか事前に聞き、カラオケという声が多かったので立川南口のビックエコーにて開催しました。親から離れ、子ども達だけで過ごす時間を作るため、移送サービスPALの車両を3台利用し、送迎も対応しました。今回11名の参加があり、1人1曲から2曲しか歌えない状況がありましたが、参加されたみんなは楽しく過ごしていました。中には今日の日のために練習してきたという子もあり、それぞれ、歌声を披露していました。

大人になっていく過程で色んな壁にぶつかる時があるかもしれませんが、そんな時に同じ障害がある先輩や同級生とつながっていることで乗り越えていく気持ちが強く持てたり、参考になる話が聞けたりすると思います。そんなきっかけになれば良いなと思い、今後も子ども向けILプログラムを続けていきたいです。

（鶴園 誠）



私たちの動き（10/1～1/31）

（ ）は担当部門名 C I L ・ H L ・ 就労 ・ パテ

【イベント・行事の実施】

（C I L）

- ・ 出前講座（1 中, 上砂川小, 西砂小, 幸小, 1 小, 2 小, 6 小, 9 小, 1 0 小, 若葉小, 大山小, 氷川小）
- ・ ランチタイム（10/24, 1/22）
- ・ 秋の楽市（11/8）
- ・ 女性 I L P
- ・ 「女子会 おしゃべり&ランチ会」（11/10）
- ・ 内部研修（11/14）
- ・ 子ども I L P 「いっぱい遊ぼう♪」（11/30）
- ・ クリスマス会（12/18）

（就労）

- ・ お楽しみ会（10/3）

（H L）

- ・ 平成 26 年度立川市障害者週間（12/3-9）

（パティオ）

- ・ 年越しそば会（12/30）
- ・ お雑煮会（1/2）

【連絡会・委員会・連携業務】

（C I L）

- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会地区別懇談会（10/2. 30, 11/6. 13, 1/14. 29）
- ・ 立川市障害者施策推進委員会（10/3. 20, 1/23）
- ・ 立川市災害ボランティアネットワーク
(10/10, 11/11)
- ・ 立川市指定特定相談支援事業所連絡会
(10/15, 12/11)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会（10/15, 1/30）
- ・ あいあいプラン 2 1 策定委員会（10/24, 11/14, 1/23）
- ・ 多摩療護園オンブズパーソン
(10/29, 11/13, 12/24, 1/30)
- ・ 地域福祉計画策定検討委員会（11/19）
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会学習会（11/21）
- ・ 立川市施策推進委員会 座長会（11/27）
- ・ 人権学習事業委員会
映画上映・バリアフリートーク（12/7）
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会（12/19）
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会交流会（1/17）

（H L）

- ・ 立川市障害者週間実行委員会（10/7, 11/21, 1/20）
- ・ 立川市自立支援協議会全体会（10/15, 1/30）
- ・ 立川市障害者週間あすなろフェスタ（10/18）
- ・ 社協運営委員会（11/6）
- ・ 事業所連絡会（11/17）

（就労）

- ・ 立川市自立支援協議会全体会（10/15, 1/30）
- ・ 多摩就労支援事業委託団体連絡会（10/17, 12/19）
- ・ 立川市自立支援協議会就労専門部会（1/23）

(パティオ)

- ・立川市障害者週間実行委員会(10/7, 11/21, 1/20)
- ・りらく定例会(10/16, 11/20, 12/18, 1/16)
- ・立川市地域活動支援センター連絡協議会(10/17, 1/16)
- ・立川市障害者週間あすなろフェスタ(10/18)
- ・立川市精神保健業務連絡会(10/21, 11/18, 12/16, 1/20)
- ・グループホーム連絡協議会(10/23)
- ・たちせいれん(10/23, 1/23)
- ・支援センター多摩立川保健所圏域会議(10/24)
- ・りらく新年会(1/15)

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・立川防災ボランティア養成講座(10/4)
- ・アシストミル15周年記念式典(10/25)
- ・親の会主催 障害支援区分学習会(10/29)
- ・大フォーラム(10/30)
- ・T I L 研修(11/25)
- ・立川防災ボランティアフォローアップ交流会(11/30)
- ・立川市議会傍聴(12/9)
- ・J I L 全国セミナー(12/15. 16)
- ・東京都相談支援従事者初任者研修
(1/7. 8. 14. 15. 26. 27)
- ・障害者虐待防止講演会(1/16)

(就労)

- ・八王子ふらん研修(12/16)
- ・立川市精神障害者啓発事業研修(1/29)

【外部からの見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・実習生 J I C A 7名
- ・実習生 立教大学 1名

(パティオ)

- ・実習生 1名

【講師派遣】

(C I L)

- ・東京都相談支援従事者初任者研修(11/12. 26, 1/7)
- ・国際医療福祉大学大学院(11/19)

(就労)

- ・多摩地区障害者就労支援講習会(12/17)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・ 匿名 1 名
- ・ 日本キリスト教団国分寺教会

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ノ
ビル 2F

TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-
3134

URL : <http://www.sh.rim.or.jp/~cilt>